

「主からくる勇気」 ～あなたは義を実行しているのか？

ヨシュア1：6～9、
2：1～21、6：17～25

アメリカのオーディション番組に出演し、一躍有名になったスーザンボイルさんがいます。彼女の歌声は全世界的に人々を感動させました。しかし、容姿端麗とはいえないスーザンボイルさんはなぜ、テレビ出演をし、出演している中で、馬鹿にされたとしても堂々とした振る舞いのできたのでしょうか。それは勇気があったからでした。誰に何を言われたとしても、自分を貫く事ができるには勇気が必要です。今日読んだ中で、遊女ラハブが出てきます。ラハブはとても勇気ある行動をしました。聖書の中に遊女のした行動が書かれているということはとても重要な事です。リーダーがモーセからヨシュアへと代わり、いよいよ約束の地カナンに入国しました。しかし約束された地であるカナンにはすでに人々が住んでいて、たくさんの町を形成していました。ヨシュアは神に従い、1つづつ町を取り戻していきました。その中で今回はエリコとよばれる町を取り戻していくための部分です。エリコは高い城壁によって町を覆い、外敵から町を守っていました。ヨシュアはエリコを偵察するために民の中から2人を呼び出しました。遊女であるラハブは偵察する2人をかくまい、助けました。これはとても勇気ある行動です。他の人に知れたら、家族もろとも殺されてしまうかもしれないという危険な状況でした。これが主からくる信仰による勇気です。自らの正しさを訴えるためにしている行動は主からの勇気による行動ではない事が多いです。私たちにはどんな事があっても貫いている事があるのでしょうか。聖書の中に、モーセはホレブという場所では岩を杖で叩き、水を湧き上がらせました。しかしツィンの荒野では言葉によって命じることによって水が沸くと神に言われていたにも関わらず、今まで経験し成功していたように、杖で岩を叩き水を湧き上がらせてしまいました。この不従順によりモーセはカナンの地へ入る事ができなくなりました。私たちはその都度、神の言われることに従い、主が命じていることに対してそのまま行っているのでしょうか。自らの手で何か付け加えたりしていないのでしょうか。ラハブに渡された赤い紐があります。これを窓に吊るしておく事だけが、ラハブの一族が助かる望みとなりました。ラハブはそれを信じて付け加える事もせず、赤い紐だけを窓に結びつけていました。私たちは安心を得るために「〇〇をなさい」と言われている事に何かをつけ加えてしまう事はないのでしょうか。（ヤコブ2：25、ヘブル11：30～31）ここには信仰によってラハブは勇気ある行動ができ、結果として助かる事ができたと新約聖書は教えています。私たちは自分のしている事を勇気を持って、自信を持ち、信仰によってしているのでしょうか。私たちは人よりも上の立場に成った時に、真価が問われます。本当の勇気を失っていると、見せかけの権力や勇気がほしくなります。しかし信仰を持っているのであれば、自らを省みて自分がどれほど、危険な存在であるかが分かります。自分の弱さを認めて行くときに、主の強さが発揮されます。（Ⅱコリ 12:10）「なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。」ラハブは信仰を持って強く歩み、自らを律していく勇気を持っていました。信仰による3勇気として①知勇。私たちは無鉄砲な勇気では意味がありません。知恵のある勇気を持たなければいけません。知恵（レーマ）とは神の領域であり、これから先に起こる事を知る事です。ラハブから学ぶ事ができます。この先、エリコはイスラエルによって制圧されていく事を悟り、ラハブの家族が生き残る事ができるためにはどのようにするべきなのかを冷静に判断して、赤い紐の約束になりました。私たちは信仰によって神の知恵を聞きながら、何が正しいことなのか、知勇を持って判断していきましょう。信仰による3勇気②義勇。義の漢字は我の上に羊があります。すなわち私たちの事を優先するよりも羊であるイエスキリストの思いを優先させる事を意味しています。そのための勇気が義勇です。自分を守るためやプライドを保つために勇気があるのではありません。正義を行うための勇気が義勇です。私たちのすべき事は神にあって正しくなければなりません。すなわち私たちの思いの根底に神の思いがあるのかを見て下さい。神のために勇気を持って犯罪を犯すというのは間違っていますし、勇気を持って怠惰に過ごすという事も危険です。私たちを見つめている神がいるからです。私たちが本来すべき事をするために勇気が必要です。信仰による3勇気③沈勇。これは感情的に発する勇気ではありません。何か問題が起こり、落ち着けない時にこそ、落ち着いていく勇気が必要です。受胎告知をされたときのマリアは「どうかこの身になりますように（ルカ1：38）」と告白しています。それは危険が伴うがそれも合わせて受け止めているからです。これが沈勇です。ラハブは信仰によって心を落ち着かせました。復活後、弟子たちの前に現れたイエスキリストは驚嘆する弟子たちを前に「安かれ」と言っています。私たちは心に平安がなく、感情的になって突発的な行動をしてしまうような事はないのでしょうか。すなわち動揺を止める事ができる勇気を持つということです。動揺するような事が起こった時に勇気を持って耐え、正しい判断をしていきましょう。十字架を前にしたイエスキリストは黙っていましたが神に従って歩んでいました。私たちは今、心騒いでいるような事があった時、ラハブのように心落ち着かせていかないと正しい事を行えません。私たちは神の知恵を持って、自分のためではなく、自分の周りにいる人々のために、落ち着いて判断をして、勇気を持ち大胆に行動していきましょう。これを瞬時に行えるようになりましょう。冷静になる事が大事です。落ち着けていないとこれから先に起こる事を、神の知恵を聞く事ができません。自分の愚かさを知っていれば、自分の悟りに頼る事なく、頼るべき人に頼ることができます。このことを聖書を通し学び、実践していきましょう。（要約者：平澤一浩）